

# 第3期 日本一の健康長寿県構想ver.2

## 補足説明資料

【18日分】

大目標Ⅳ 少子化対策の抜本強化 ..... p. 1～p. 4

※19日分(大目標Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ)は19日に配付します

平成29年度 第1回日本一の健康長寿県構想推進会議 主な施策の進行管理表

「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」の取り組みの推進	
平成29年度の具体的な進め方	
課題	① 応援団の登録数の増加に向けた取組の拡大
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤誘促進ツールの作成</li> </ul>
現状	<p>応援団数：256団体(H28年度末)</p> <p>勤誘促進ツール (応援団PR冊子、グッズ) ※年2回配布</p> <p>登録20、訪問37 (内訳企業等訪問34、イベント団体3)</p> <p>企業等訪問(職員) ※4月分実績</p>
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●登録目標180団体の内訳                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①企業・団体 160団体</li> <li>②イベント実施団体 20団体</li> </ul> </li> <li>●180団体に向けたアプローチ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①県主体の勤誘促進(主なもの)                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>(H28 企業等訪問数実績 309団体)</li> <li>・県内企業(従業員規模50名以上)</li> <li>・医療福祉施設病院(有床)110施設等</li> </ul> </li> <li>H29 保育所、幼稚園、医療福祉施設</li> <li>・イベント系、行政 等</li> </ul> </li> <li>②官民協働による勤誘の強化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>(①以外の企業等への応援団勤誘)</li> <li>・法人会による新規開拓(通年)</li> <li>・連携強化事業委託業者による新規開拓(7月～3月)</li> </ul> </li> </ul>
5月	
6月	
7月	<p>PR冊子作成・配布</p> <p>応援団に対して取組事例をヒアリング調査(応援団に取組事例紹介)</p>
8月	
9月	
10月	
11月	<p>応援団の取組紹介(新聞広告) ※7月～10月内各含む</p>
12月	
1月	
2月	
3月	
(見込)	累計登録団体 436団体
年度末の目標	・応援団数：430団体以上 (H28年度末 256団体)
4年後(H31末)の目標	○「出会い・結婚」「妊娠・出産」「子育て」への支援を望む方の希望が、より早く叶えられている。 ・応援団数：770団体以上

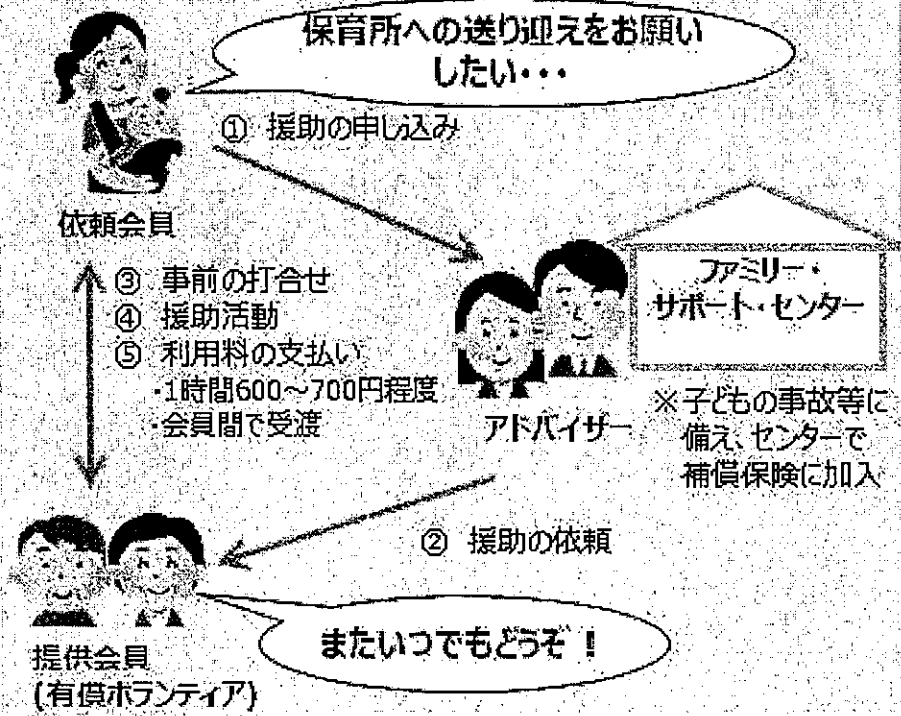
平成29年度 第1回日本一の健康長寿県構想推進会議 主な施策の進行管理表

具体的な施策名		総合的な結婚支援策の推進	
		平成29年度の具体的な進め方	
課題	取組概要	①出会いの機会の拡充	②きめ細かな支援の充実
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>マッチングの広報</li> <li>センター移設(登録閲覧ブースの増設)</li> <li>ビッグデータの導入</li> <li>出張登録閲覧会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出会いのきっかけ補助金</li> <li>県主催交流会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>婚活サポーターの養成とスキルアップ</li> <li>イベントサポーターの養成とスキルアップ</li> </ul>
現状	マッチングシステム登録者数:805名(H29.3.31) マッチングシステムの認知度:9.2%(H28県民意識調査)	応援団実施イベント数:127回(H28)	マッチングサポーター:24名 イベントサポーター:53名
4月	1. マッチングシステム(会員登録増及びマッチング率を高めるなど質の向上) 【会員増に向けた対策】→(認知度向上) ①上半期に広報を重点実施 業界団体の総会や企業訪問による勧誘 結婚支援部会に広報依頼 ・高知法人会会報誌(高知法人会加盟3,000社)での定期的な広報 ・法人会役員等において説明 ・市町村訪問等において広報と出張登録閲覧会の開催依頼 ・コンビニへのちらし配布 ほか ↓ ↓ ↓ 【認知度アップ】会員登録の増	2. 地域の独身者等を対象とした出会いはイベントの充実 A) 県主催交流会(年6回開催) B) 出会いのきっかけ補助金 ③企業等を訪問し、補助制度及び活用例を紹介 (イベント実施要領改正)	5. サポーターの養成・研修 ⑧【サポーターの増対策】 ・マッチングサポーターお引合せ会場である応援団に登録依頼 ・イベントサポーターイベント実施応援団に登録依頼
5月		④訪問相談員の配置 ⑤企業等間コーディネーターの配置 県版ガイドラインの作成 (企業訪問開始)	4. 婚活サポーター ⑥【婚活サポーター増対策】 ・理美容、生保、JA女性部・青年部等に登録依頼 定期交流会(年6回) ※4/16第1回実施済 地区別交流会(3カ所) (ガイドラインの周知)
6月	【結婚支援組広報(30秒CM)】・テレビCM:7月(1カ月間)、8月(1カ月間) ・シネアド:8月(1カ月間)	ハラスメント研修(理論研修)	イベントサポーター養成講座(3カ所)年2回
7月	②【センター移設とビッグデータ運用開始に合わせた集中的な広報】 ・さんSUN高知8月号 ・テレビ・ラジオの読み上げ広報8月 ・マスコミを活用した広報(記者室投付け込み) センター移設(ブース数3→4) ⑨ビッグデータの運用開始	ハラスメント研修(実例研修)(4カ所)	マッチングサポーター養成講座(3カ所)年2回 マッチングサポータースキルアップ研修(3カ所)年2回
8月	市町村や企業等に於いて出張登録閲覧会の開催イベント等を活用した出張登録閲覧会の開催	異業種等交流会実施支援開始	
9月			
10月		ハラスメント研修(実例研修)(4カ所)	イベントサポータースキルアップ研修
11月		【訪問相談員】 ・結婚支援への理解と参画を促すため、企業・団体(応援団等)を訪問して企業等の窓口担当者の配置を促進する。(個別訪問の実施) 140団体×3回 =延べ420団体以上 【企業等間コーディネーター】 ・企業等の窓口担当者が、異業種等交流会やライブプランセミナーの実施を希望した場合に、企業等間の調整、会場確保、イベント実施計画作成等の支援を行う(異業種交流会の実施)5回以上	
12月	初年度登録会員に対して更新のお知らせ(ルマガ)		
1月	マッチング会員登録更新手続開始		
2月			
3月			
(見込)	マッチングシステム登録者数:1,270名(H30.3.31現在) ⇒1,000名(H30.4.1現在)	窓口担当者の配置:120名 異業種等交流会:5回	独身者を支援するボランティア数:160名
年度末の目標	○より多くの方の結婚・妊娠・出産・子育ての希望が、より早く叶えられている。 ・独身者を支援するボランティア数:135名⇒160名 ・高知家の出会い・結婚・子育て応援団の実施するイベント数:140回 ・マッチングシステム登録者数:930名		
4年後(H31末)の目標	○より多くの方の結婚・妊娠・出産・子育ての希望が、より早く叶えられている。 ・女性の既婚率(25～49歳):75.4% ・高知家の出会い・結婚・子育て応援団の実施するイベント数:160回 ・独身者を支援するボランティア数:150名⇒175名 ・マッチングシステム登録者数:1,000名		

現 状

○ファミリー・サポート・センター事業の概要

・子育ての援助を受けたい人と行いたい人がそれぞれ会員登録し、会員間で子育ての助け合いをする仕組み



○本県の実施状況 2市1町  
高知市(H16.7~)、佐川町(H28.2~)、香南市(H28.11~)

県内全域への普及が進んでいない

国の補助要件のハードルが高い  
・50人以上の会員登録が要件  
・委託先の確保が困難

制度が十分に知られていない

・会員の確保が困難  
・ニーズが顕在化していない  
・援助活動の安全性への懸念

H29の取り組み

1.高知版ファミリー・サポート・センター設置への支援

○高知版ファミリー・サポート・センター運営費補助金 [15,550千円]

国の補助要件を満たさない会員数50人未満の小規模なセンターを設置・運営する市町村を県単独で支援

- ・補助率：①②③2/3、④10/10
- ・支援内容：①会員数50人未満のセンターの設置・運営  
②1名以上の専任職員の配置  
③市町村が独自に行う研修  
④提供会員の活動支援  
(提供会員に加入し、援助活動を行った場合に年額5,000円の活動費を支給)

○ファミリー・サポート・センター運営費補助金 [3,500千円]  
国の補助を活用してセンターを運営する市町村を支援

2.会員(預けたい・預かりたい)の増に向けたセンターのPRと研修の実施

○地域の支え合い事例のTV放送・出前上映 [3,080千円]

- ①既存センターの実際の活動事例をTV放映
- ②上記支え合い事例をDVD化、地域のイベント等で上映

○リーフレットの作成・配布、県の広報媒体を活用した周知 [674千円]

○提供会員になるための研修の実施 [722千円]

○アドバイザーのスキルアップの支援 [266千円]  
リスクマネジメントやコミュニケーションスキルなどアドバイザー向けの研修を実施

進捗状況

項目		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. 新たなセンターを開設する	南国市	交付決定	担当課との協議(委託先(クンベル)との協議、広報及び会員募集開始等)			開設準備(設備整備、会員登録等)			センターの開設(10/1予定)・運営				
	安芸市			交付決定	担当課との協議(委託先との協議、広報及び会員募集開始等)			開設準備(設備整備、会員登録等)			センターの開設(12/1予定)・運営		
	その他市町村	首長訪問(5/19室戸市、5/24土佐市、5/29宿毛市、5/31須崎市、いの町) 担当課との協議(高知版活用の検討等)											
2. 会員を増やす(共通)	制度の周知	TV放送委託業者選定 番組制作 地域の支え合い事例のTV放送・出前上映 リーフレット作成・配布、県広報媒体による広報(通年) 高知市町内会連合会総会にて事業説明(6月) 子育て応援団すこやか出展(7月)											
	提供会員の養成	子育て支援員研修(ファミリー・サポート・センターコース) 基本研修 /2日間×3回 専門研修(共通科目) /3日間×1回 専門研修(ファミリー・サポート・センターコース) /1日×1回 会員登録(高知市・佐川町・香南市 南国市・安芸市)											
	アドバイザーのスキルアップ	P.3 アドバイザー研修 アドバイザー研修											

平成29年度の到達目標

- ・高知版ファミリー・サポート・センターの開設(3か所)
- ・登録会員数の増加

平成31年度末の目指す姿と目標値

高知市周辺及び県東西の市部を中心に県内全域での開設(13市町)を目指す

# 具体的な施策名：切れ目のない子育て支援策の推進 2. 放課後の子ども居場所づくりと学びの場の充実

実施計画		月	
月	放課後子ども総合プラン 放課後児童クラブ (168 箇所うち高知市 89 箇所) 放課後子ども教室 (147 箇所うち高知市 41 箇所)	学び場 人材バンク (人材の確保)	支援員等研修 (質の確保・向上)
月	活動内容の充実	居場所や学び場の充実	
4 月	<b>【現状】</b> ○放課後児童クラブ・放課後子ども教室の設置率 H28:93.8%→H29:94.8% ※未設置 10 校。6~49 人の小規模公民館、あったか等が居場所	○学校、市町村、連携主事、コレック 4 者による情報交換市町村毎に現地実施 (5~10 月) ○県下 6 ブロック PTA 連合会に事業説明とボランティア登録呼びかけ (5~9 月)	◎児童クラブ・子ども教室共通 ★児童クラブのみ ◎支援員等研修 (H29 アップ研修 1) (中部) ◎支援員等研修 (安全・安心) (東部・中部・西部) ◎支援員等研修 (H29 アップ研修 2) (中部)
5 月	<b>【課題】</b> ○登録児童数 46 人以上の放課後児童クラブ 80 箇所 (51.6%) を H31 年度までに 40 人以下へ	<b>【現状】</b> ○放課後学びの場における学習支援の実施率 H28:98.0% (児童クラブ 100%、子ども教室 95.9%)	◎支援員等研修 (H29 アップ研修 3) (中部) ★子育て支援員研修 (放課後児童コース) (全 2 日) ◎支援員等研修 (H29 アップ研修 4) (中部)
6 月	<b>【課題】</b> ○防災の取組の現場への浸透が不十分 避難訓練実施率:80.8% 安全点検実施率:75.3% ○食育学習の活用が 6 市町村 8 箇所	○市町村 PTA、単位 PTA への説明と登録呼びかけ (6~3 月) ○全市町村社協へ説明会 (5~10 月)	◎支援員等研修 (H29 アップ研修 5) (中部)
7 月	<b>【対応】</b> ○市町村実態調査 (6 月) ○全市町村訪問、取組状況調査 (9 月)	<b>【対応】</b> ○避難訓練未実施箇所の多い市町村を中心に訪問し、実施要請・働きかけ強化 (~8 月) ○安全点検未実施箇所の市町村に対し、安全点検の確実な実施を通知 (~8 月)	◎支援員等研修 (H29 アップ研修 6) (東部・西部) ★放課後児童支援員認定資格研修 (全 4 日)
8 月	<b>【対応】</b> ○取組状況調査の集計 ○課題の検証 ○対策案の検討	○老人クラブ連合会への説明と登録呼びかけ (4~10 月) ○企業訪問による事業説明等 (4~3 月)	◎支援員等研修 (子どもの育ち) (東部・中部・西部) ◎支援員等研修 (H29 アップ研修 7) (中部)
9 月	<b>【対応】</b> ○高知県地域学校協働活動推進委員会 (委員 10 名) への報告及び意見の聞き取り (9 月、2 月) ○PDCA サイクルによる進捗管理	○小単位の防災出前講座や避難訓練実施のサポート (年間通じて)	◎支援員等研修 (H29 アップ研修 8) (中部)
10 月	<b>【成果】</b> 学習支援の実施率 96%以上 避難訓練実施率 90%以上 安全点検実施率 100% 安全対策実施率 93.4%以上	◎支援員等研修 (H29 アップ研修 9) (中部)	◎支援員等研修 (H29 アップ研修 10) (中部)
11 月	<b>【成果】</b> 放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の設置率 H30 年度 95%以上へ	◎支援員等研修 (H29 アップ研修 11) (中部)	◎支援員等研修 (H29 アップ研修 12) (中部)
12 月	<b>【成果】</b> 放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の設置率 H30 年度 95%以上へ	◎支援員等研修 (H29 アップ研修 13) (中部)	◎支援員等研修 (H29 アップ研修 14) (中部)
1 月	<b>【成果】</b> 放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の設置率 H30 年度 95%以上へ	◎支援員等研修 (H29 アップ研修 15) (中部)	◎支援員等研修 (H29 アップ研修 16) (中部)
2 月	<b>【成果】</b> 放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の設置率 H30 年度 95%以上へ	◎支援員等研修 (H29 アップ研修 17) (中部)	◎支援員等研修 (H29 アップ研修 18) (中部)
3 月	<b>【成果】</b> 放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の設置率 H30 年度 95%以上へ	◎支援員等研修 (H29 アップ研修 19) (中部)	◎支援員等研修 (H29 アップ研修 20) (中部)